

## 済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	JHS 分類に基づいた腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術の工夫
当院の研究責任者	外科 田中 穰
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術の手術方法を JHS 分類別に定型化し再発防止につなげる。
調査データ 該当期間	2014 年 1 月から 2021 年 12 月末日
研究の方法 (使用する資料等)	2014 年 1 月から 2021 年 12 月末に TAPP を行った鼠径部ヘルニア 1075 例を JHS 分類に従って L 型 782 例、M 型 203 例、F 型 35 例、併存型 55 例に分け検討する。 ヘルニア分類別の手術方法を定型化したことによって、再発率が 0.4%と全国水準より低率であることが判明した。 再発の原因や再手術方法についての検討も行い再発率低下につなげたい。
試料・情報の 他の医療機関への提供	特にありません。
個人情報の取り扱い	研究に使用する情報に個人を特定できる情報は削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。
本研究に係る資金 (利益相反)	なし
お問合せ先	0598-51-2626 外科 田中 穰